



JAPANESE RED CROSS TOYOTA COLLEGE OF NURSING

Vol.43

ITOSUGI

いとすぎの丘

- 大学行事
- RCT☆LINK
- きらめく卒業生
- 研究のトビラを開く
- Information



大学行事



学位記授与式・入学式を挙行了しました

3月11日（水）、令和7年度学位記授与式を挙行了しました。当日は、多くのご来賓や卒業生のご家族に見守られる中、学部生129名、修士課程1名、博士課程2名が新たな門出の日を迎えました。

式典では、学長の式辞に続き、代表者へ学位記が授与されました。式典後には、修了生・卒業生一人ひとりに学部長から学位記が手渡され、会場は喜びと達成感に満ちた温かな雰囲気になりました。学位記を受け取る皆さんの表情からは、在中に培った知識と経験、そして将来への決意が感



じられました。

その後に行われた謝恩会では、卒業生がこれまでお世話になった先生方へ花束を贈り、思い出話を花を咲かせるとともに、記念写真を撮るなど和やかな時間を過ごしました。

春の優しい香りに包まれた4月6日（月）、令和8年度入学式を挙行し、新入生が希望と決意を胸に新たな一歩を踏み出しました。今年度の入学生は、学部生139名、修士課程4名、博士課程5名です。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員・在校生一同、皆さんのご入学を心から歓迎するとともに、これから始まる学生生活が実り多く、充実したものとなるよう願っております。皆さんが安心して学びに専念できるよう、全力でサポートしてまいります。

RCT☆LINK



大学生活3年間を振り返って

4年 松田 直久

私がこの大学に入学してから、早くも3年が経ち、最終学年となる4年次を迎えました。この執筆を機に、これまでの歩みを振り返ってみたいと思います。

1年次は、ひたすら新しい出会いを楽しむ時期でした。コロナ禍の影響はありましたが、サークル活動を通して同級生との横の繋がりだけでなく、先輩との縦の繋がりも築くことができました。学業面では、解剖実習や血液センターの見学を通じて看護の基礎となる人体の構造や血液製剤の製造・保管方法について学び、専門的な知識に触れる楽しさを味わいました。

2年次は、忙しさを知った時期でした。COVID-19による活動制限が緩和され、サークル活動が活発になりました。サークル運営は大変でしたが、豊田市消防本部や日本赤十字社愛知県支部の方と関わり、「報告・連絡・相談」の大切さについて身をもって学びました。また、専門科目の増加に伴い学習量も増えましたが、新しい知識を得られる日々はとても新鮮に感じられました。



3年次は、「看護とは何か」を深く考えた時期でした。グループワークが増え、これまで話す機会がなかった人と議論することで、自分にはなかった新たな視点を得ることができました。また、臨地実習では、講義で得た知識を実際の患者さんの看護へと結びつけることができ、看護の楽しさを学ぶことができました。

この3年間を通して、学ぶことの楽しさはもちろん、同じ目標をもつ仲間がいる心強さ、支えてくださる方々との「縁」を紡ぐ大切さを学びました。残りの1年も、これから出会う方々との「縁」を大切に過ごしていきたいです。

⇒次回RCT☆LINKは
3年 亀割はなさんです



愛知県赤十字
血液センター
献血ルーム 勤務

西澤 彩さん

2008年3月卒業（1回生）



今回は、看護師として献血ルームに勤務する西澤彩さんにインタビューをしました。子育てしながらも看護の仕事続ける西澤さんの眼差しはきらきらと輝いていました。

卒業後のキャリアを教えてください。

卒業後は、諏訪赤十字病院に3年間勤務し、下伊那赤十字病院に異動して、1年間地域看護や退院支援を行ってきました。結婚を機に愛知県に移住し、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院に2年間勤務した後、2014年から血液センターに異動しました。3月まで第3子の育休中でしたが、4月から職場復帰しました。

血液センターを希望した理由と現在の業務内容について教えてください。

看護師としてずっと働き続けたいという思いがあったので、妊娠や子育てをしながら働ける場として、夜勤のない血液センターへの異動を希望しました。血液センターでの業務は、採血業務です。安全な献血が行えるよう、また、献血者に安心して献血していただけるように献血事業に携わっています。

勤務先は、名古屋駅前出張所というJRセントラルタワーズの20階で、看護師は20～30名程度います。献血される方は、平日100人前後、休日200人弱、180～190人くらいです。看護師の数は、献血ルームの規模、ベッド数に合わせて配置されています。

勤務時間は、9:40～18:10で病棟より1時間遅く始まり、1時間遅く終わるという感じです。子育て中でフルタイムでは働けないため、短時間勤務としてもらい、9:40～17:10まで働いています。

血液センターで働くうえで、看護師としての強みや大切にしていることを教えてください。

病棟勤務の時は、血液製剤を安全に使用する立場でした。今は、安全な血液製剤を供給する立場ですので、治療を受ける方や献血に来られる方の両方の思いを大切にしながら、採血業務に取り組んでいます。

健康な方が献血に来られますが、献血することによって血圧が低下したり、気分が悪くなったりすることもあるため、それにいち早く気づいてケアしていけるというのが看護師の役割だと思っています。また、安心して献血してもらえるように声をかけ、不安を取り除くということも看護の力がそこで生かされていますし、看護師としての強みであると思っています。

現在のキャリアに繋がっている大学での学びや経験について教えてください。

看護実習で一人の患者さんを受け持ち、深く関わらせていただくという経験は、相手を理解するうえでの基盤になっていたのですが、働きだすと実習のように一人の患者さんと深く関わるという機会はなく、日々の業務を安全に効率よく実施することが求められてきます。相手の気持ちを理解して、相手が何を考えているのか、それに寄り添うことが看護をしていくうえで大切なことだと思っていますので、実習の中で深く関わらせていただいた一人の人について理解することが看護師になっても生かされていますし、寄り添うにはどうしたらいいのかを考えています。

献血に来られる方もいろいろな思いを持って来られています。病気の方の役に立ちたいという思いや血液検査データがもらえるので、自身の健康チェックのためだったりもします。多くの方が来られているので、その方々の気持ちも汲み取りながら、献血を安全に安心してやっていただけるようにしています。その人を理解したい気持ちを持つことや寄り添うとはどういうことか、看護学生の時に学んだことです。病棟で働く時にも、今の献血ルームで働く時にもそれが一番の基盤になっていると感じています。

初めて来た、怖いけど来たという方には、まずは気持ちを和らげ、痛くないように安心してできるように説明しています。その方が安心してリラックスした気持ちで過ごせるように、その人の持つ力も発揮できるようにということも大切にしています。話しをしたり、献血はこういうことだと説明したり、不安を取り除くこと、その人が安心していられることが大事なのかなと感じています。

今後の目標を教えてください。

看護師になりたいと思った時から、誰かに寄り添って、その人をサポートしたいというのはずっとありますが、相手の思いに寄り添って、その人の持つ力が発揮できるように看護することをずっと続けていきたいと思っています。そういう気持ちを持ちながら、今自分ができることを考えながら働いていきたいと思っています。

在学生へのメッセージ

日々の実習や勉強は大変なこともあるかと思いますが、自分の健康が第一なので、睡眠、食事、息抜きをしっかりと、いろんなことに挑戦してください。また、自分の気持ちを大切に、まっすぐ進んでいっても回り道や休憩してもいいと思います。自分を信じて周りにも頼って、夢や自分の目標に向かって学生生活を送ってほしいと思います。挑戦するということがあると自分のモチベーションが上がるし、頑張ろうという気持ちになるので、是非、自分がやりたいことにチャレンジしてほしいと思います。

研究のトビラを開く



今回は、看護管理学の田中慎吾講師です！

看護という仕事を科学で紐解く

患者さんは入院中、想像以上に多くの移動を経験します。たとえば病棟間のベッドの移動、同病棟内での移動、検査室への移動、そして退院して自宅や別の病院へ向かう移動などです。こうした場面すべてで、看護師は中心的な役割を担っています。これらの移動は体や心に負担をかけることがあり、その負担を軽減できるかは看護師の判断や調整に大きく左右されます。私はこれまで大きく分けて2つのテーマを研究してきました。1つ

目は「病棟内で患者さんのベッド移動がどのように決まっているのか」、2つ目は「看護師の考え方が退院支援にどのような影響を与えるのか」です。看護管理学領域ではこのように看護師の働き方に注目することで看護の質向上を目指す研究を行います。看護師の力を高めることが患者さんの入院中だけでなく、その先の生活を支えることにつながると考え研究を続けています。



Information



Event (4月~11月)

4月	6日(月) 入学式
5月	30日(土) いとすぎ祭(大学祭) 同日第1回オープンキャンパス
6月	20日(土) 第1回大学院説明会 27日(土) 第2回オープンキャンパス

8月	19日(水) 第3回オープンキャンパス
9月	12日(土) 第1回大学院入試 26日(土) 看護学部総合型選抜
10月	17日(土) 第2回大学院説明会
11月	28日(土) 看護学部推薦選抜入試

オープンキャンパス情報

第1回 2026年5月30日(土) 受験生向けオープンキャンパス(入試概要説明、入試対策セミナーなど)

第2回 2026年6月27日(土) 保護者向けオープンキャンパス(学生支援・学費等の説明など)

第3回 2026年8月19日(水) 中高生向けオープンキャンパス(演習看護体験、キャンパスツアーなど)

- ★いずれのプログラムも主な対象者を設定していますが、ご家族など付き添いの方と一緒に参加可能です。
- ★参加申込はLINEからとなりますので、本学LINEアカウントを友だち追加してお待ちください

公開講座および専門職向け研修会情報

公開講座

日時	講師	テーマ	開催方式
8月1日(土) 時間未定	未定	夏休み! うんこサイエンスラボ(仮)	未定

専門職向け研修会(医療従事者向け研修会)

日時	講師	テーマ	開催方式
7月25日(土) 10:30~12:00	公衆衛生看護学領域 長谷川 喜代美 教授	これだけは知っておきたい看護研究における倫理的配慮	オンライン(ZOOM)

SNSにて情報発信中

入試情報やイベント情報などを発信しています。ぜひフォローをお願いします!

LINE公式アカウント



Instagram



JRC_TOYOTACOLLEGE

X



愛知県内赤十字施設 共同Instagram



NISSEKI_AICHI

Vol.43

いとすぎの丘

発行日/2026年5月
編集・発行/日本赤十字豊田看護大学
入試・広報委員会、入試・企画広報課
〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33
TEL 0565-36-5111 (代表)
FAX 0565-37-8558
E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp
HP <https://www.rctoyota.ac.jp/>